

NAGANO ゴルフ協会だより

2008. 10. 30

塩尻市チームが優勝 第44回市町村対抗決勝大会

4地区予選を勝ち抜いた40チームが参加する第44回市町村対抗大会は、10月27日、長野カントリークラブで開いた。風は無く、やや肌寒いですが、時折日が射す中で、1チーム4人、計160人の代表選手が競った。

県アマ上位入賞者らが顔をそろえた塩尻市、長野市、須坂市の3チームが白熱の上位争いを展開。3人が70台でまとめ、チームトータルスコア297の塩尻市（続木良博、宮島一馬、熊谷厚水、野澤文治）が6年ぶり、3回目の優勝を飾り、大優勝旗を手にした。

2位は305の須坂市（広田文雄、唐澤謙一、藤沢健、伊藤雅章）。長野市（高山源一、小山宏充、北島一郎、大水博之）は同じスコアだったが、最上位者のスコアにより3位となった。

以下の順位は ④松川町 316 ⑤千曲市 316 ⑥池田町 320 ⑦立科町 321 ⑧上田市 321 ⑨諏訪市 322 ⑩安曇野市三郷 322。

個人は、塩尻市優勝の立役者、宮島一馬がただ一人アンダーパーの70で初優勝、2位は茅野弘喜（諏訪市）72、3位は広田文雄（須坂市）73、4位は中澤俊一（千曲市）73、5位は続木良博（塩尻市）73。（同スコアの場合は年長者が上位に）

大分国体は男子29位、女子は43位

「チャレンジ！おおいた国体」は9月10～12日、成年男子は大分市大分カントリークラブ、女子は隣の臼杵市臼杵カントリークラブで開いた。

前年の秋田わか杉国体では、成年男子が8位入賞、女子は33位。県勢は着実に実力をつけてきたと期待されて臨んだ。

男子は、宮島一馬（監督兼任・塩尻市）、小山宏充（長野市）と大学生の百瀬将道（松本市）のチーム。

第1日は小山が74の好スタート、宮島、百瀬も79でまわった。第2日は、宮島の75が3人中のベストスコア。2日間を通じ、3人とも十分に力を出し切れず、トータル467、29位に終わった。

女子は、嶋田万里子監督（長野市）、竹節嘉恵、別府砂織（ともに山ノ内町）と伊藤萌衣（長野市若穂中=少年種別年齢）の編成。3人とも調子を崩し、トータルスコアは515、43位。



（百瀬選手のティーショット）

他府県の男子は大学ゴルフ部員が多くなり、女子はプロ志向のジュニアの活躍が目立った。

国体少年男子は北信越大会で5位 (7月16日・新潟)

ブロック予選がある少年男子は、7月16・17日に新潟県胎内市の中条ゴルフ倶楽部で開いた北信越国体で大分出場をかけて5県で競った。

召田誠監督(松本筑摩高教諭)、斉藤和也(軽井沢中)、栗林大貴(青木中)、花岡達也(長野東高)の若いチームでトータル256。

高校ゴルフ部が充実している福井、来年の地元国体に向け強化に力を入れている新潟に差をつけられて5位となり、3位までに与えられる出場権は獲得できなかった。

シニアは活躍、男女とも個人全国2位

日本スポーツマスターズ高知大会

シニア世代を対象とした日本スポーツマスターズ2008高知大会のゴルフ競技は、9月24日から26日の3日間、高知県で開き県勢は男女とも、素晴らしい活躍を見せた。

会場は男女とも高岡郡日高村。グリーンフィールドゴルフ倶楽部で開いた男子(55歳以上)は、呉本公太(岡谷市)、呉本生福(諏訪市)、奥村倫吉(喬木村)のチーム。上位2人の2日間合計スコアで競う団体戦は、トータル293で7位タイの好成績。個人では呉本公太が143で2位タイに入賞した。

錦山カントリークラブの女子(50歳以上)は、上條滋子(松本市)、丸山みち子(安曇野市)、嶋田万里子(長野市)のチーム。団体戦は上位2人のスコア327で堂々の5位。個人戦でも丸山みち子が155、優勝者とは1打差、惜しい2位だった。

県アマ 41代チャンピオンは伊藤雅章

第41回県アマチュア選手権大会は、8月27・28日諏訪湖カントリーで128人が出場して決勝ラウンドを行い、伊藤雅章(須坂市)が初優勝を飾った。挑戦11度目の栄冠。

激しい雨の中の2日目、初日は首位に3打差の9位タイだった伊藤は、74でまとめてトータル149で逆転、初日首位タイだった戸谷義則(飯綱町)が80をたたいてトータル152で2位、前年優勝の広田文雄(須坂市)は153で3位だった。

4位タイに154の茅野弘喜(諏訪市)と松下佳弘(松川町)、6位タイに155の座光寺透(飯田市)、須山朝雄(松本市)、8位タイには藤森勇一(諏訪市)、高塚剛(佐久市)、小山宏充(長野市)、岩本新九郎(諏訪市)、宮島一馬(塩尻市)が156で並んだ。

出場資格取得競技会は、6月に塩嶺、長野、大浅間、松本、穂高、諏訪湖の6会場に919人が参加して行い、予選は塩嶺、大浅間、諏訪湖の3会場で行った。

都道府県対抗は県勢振るわず(10月22・23日 岡山県)

県アマチュア選手権の上位3人が出場した第26回全国都道府県対抗選手権大会は、

10月22・23日、岡山県玉野市の東兎が丘マリンヒルズゴルフクラブで開いた。伊藤雅章、外谷義則、広田文雄のチームは不調で、初日が計253で48代表中47位、2日目はやや盛り返したものの249、2日合計502で45位に終わった。

個人戦でも、県勢ベストの広田が84位タイ。強風に悩まされ、上位進出はならなかった。

激戦県女子アマ 土屋が初優勝

第25回女子アマチュア選手権は10月17日、長野カントリークラブで開いた。秋晴れ、穏やかなコンディションで選手はのびのびプレー。土屋紀代美(千曲市)がプレーオフを制して初優勝した。

プレーオフは15年ぶり。78で並んだ土屋と、小林ゆたか(塩尻市)、呉本里恵子(諏訪市)、両角和美(下諏訪町)の4人が競った。パー5の1ホール目で土屋は第3打をピン奥2メートルにつけてバーディー。土屋は第4回大会から出場を続けており、悲願ともいえる栄冠を手中にした。

小林、呉本、両角の3人が2位タイ。前半トップだった別府砂織(山ノ内町)が80で5位にはいった。6位タイに81の町田まゆみ(佐久市)、丸山みち子(安曇野市)、青沼美寿紀(上田市)の3人。9位に82の中村節子(長野市)。83の泉谷寛子(茅野市)、西村けさみ(伊那市)、笹岡美保子(塩尻市)が10位タイ。

レディース地区対抗は長野市A

第8回レディース地区大会は5月16日、軽井沢72ゴルフ北コースで開催、25チーム、125人が参加した。

チームは5人で編成。上位4人のトータルスコアで競い、長野市A(嶋田万里子、竹節嘉恵、西沢真由美、上野ひと美、別府砂織)が314で優勝、2位は「ちのちの」(茅野市・山下かつみ、内田純子、高田真希、泉谷寛子、竹村世利翔)323、3位は塩尻市(水端洋子、宮島あゆみ、笹岡美保子、小林ゆたか、笠原由美子)323。

以下の順位は、④東御市 330 ⑤軽井沢町 335 ⑥飯田市 336 ⑦富士見町 338 ⑧千曲A 338 ⑨中野市 340 ⑩伊那市 342。(同スコアは最上位者のスコアで決定)

個人は、小林ゆたか(塩尻市)がただ一人アンダーパーの71で優勝を飾った。2位は嶋田万里子(長野市)76、3位は高田真希(茅野市)76、4位は久保綾子(千曲市)77、5位は竹節嘉恵(長野市)77。(同スコアのときは年長者が上位に)

男子シニア地区対抗は諏訪市A優勝

第8回シニア市町村対抗大会は5月29日、大浅間ゴルフクラブで開いた。あいにくの雨の中、5人編成の40チームが参加、上位4人のトータルスコアで競った。

優勝は、諏訪市A（大田英雄、渡辺正昭、呉本生福、小泉親彦、浜邦彦）が323で、2位の軽井沢町（藤巻勲夫、近藤栄一、土屋春男、柳沢利夫、高橋義雄）326に3打差をつけて優勝した。3位は長野市A（宮沢亮三、北島一郎、篠原力、内山敏、伊東國雄）の331。

④御代田町 333 ⑤長野市B 334 ⑥中野市A 335 ⑦南牧川上 338 ⑧松本市 338 ⑨駒ヶ根市 338 ⑩伊那市 338（同スコアは最上位者のスコアで決定）

個人は呉本公太（岡谷市）が76で優勝した。2～4位は78で3人が並び、年長者を上位にする規定により、2位に藤巻勲夫（軽井沢町）、3位に輿水米男（佐久市B）、4位に近藤栄一（軽井沢町）。5位は79で並んだ6人のなかから、年長の林芳則（坂城町）が入賞した。

諏訪市チームには、10月に開かれる「ねんりんピック鹿児島2008」の派遣チーム編成権が与えられた。

ねんりんピック（鹿児島）は55チーム中27位

シニア地区対抗優勝の諏訪市チームが県代表となった「ねんりんピック鹿児島2008」のゴルフ交流大会は、10月26・27日、霧島市の霧島ゴルフクラブで開いた。メンバーは中山千佐登、小松房友、藤森修の3人。都道府県と政令指定都市の55チームが出場し、諏訪市チームは新ペリアのトータル224.6で27位と健闘した。

メンバーに70歳以上の選手1人以上含む規定で、73歳の中山は72.2（グロス83）で70歳以上の部5位に入賞した。

男子は田村が初、女子嶋田は7年ぶり

第13回県シニア選手権

第13回シニア・アマチュア選手権は、松本カントリークラブで9月17日に開催。男子（60歳以上）は117人が出場、61歳、初出場の田村利昌（松本市）が、2位に2打差をつける74で栄冠を手にした。ゴルフ暦28年目で初めてのタイトルという。2位は、渡辺東季男（坂城町）、呉本公太（岡谷市）、武田俊二（朝日村）の3人が76で並んだ。

以下は、5位タイに77の宮島秀光（塩尻市）、田中清弘（松本市）、安部秀信（佐久市）、吉沢稱（長野市）の4人、9位タイに78の堀内康宏（安曇野市）、矢島和春（辰野町）、長田幸男（駒ヶ根市）、大口静雄（松本市）、佐々木真行（高森町）の5人。

50歳以上の女子は40人が出場、嶋田万里子（長野市）が79で7年ぶり2度目の優勝を飾った。大分国体の女子監督を務めて帰ったばかり、練習もあまりできなかったようだが、県女子アマを7回制した実力を示した。2位は81の小林ゆたか（塩尻市）と吉原みさえ（伊那市）が入った。金森信子（大町市）、上條春海（木曾町）、丸山みち子（安曇野市）の3人が82で4位タイ、江本洋子（白馬村）、萩村み恵（松本市）が83で7位タイ、大野まつ美（松本市）、水端洋子（塩尻市）、笠原敦子（岡谷市）、加藤きよ子（長野市）の4人が85で9位タイとなった。